



陸内協主催：第18回技術フォーラム2018 プログラム

日 時：平成30年10月25日(木) 13:00～17:15

場 所：東京工業大学 デジタル多目的ホール

1	挨拶	(一社)日本陸用内燃機関協会 専務理事	大橋 一生	13:00～ 13:07
2	事務局連絡	事務局	山田 勝彦	13:07～ 13:10
[講演テーマ]			[講演者]	
3	【特別講演1】電動化時代のエンジン	自動車用エンジンは過去100年以上、時代の要請に基づいて進化を遂げてきた。今注目の電動化の動きに対しても、存続をかけた新たな進化が必要である。それがどんなものか、現在進行中の動きを基に予想してみる。	(株)ティラド顧問 田保 栄三	13:10～ 13:50
4	【特別講演2】ガソリンSIエンジンの低温燃焼技術の最先端	全国の22大学(29クラスター)がチームを編成して「高効率ガソリンエンジンのためのスーパーリーンバーン研究」を推進。強いタンブル流動とスーパー点火装置の導入により Broken Reaction Zone と呼ばれる領域での乱流燃焼技術により、HCCI燃焼に代わる超希薄低温のSI燃焼を実現。冷却損失を大幅削減することで、SIエンジンの究極の熱効率50%の実証を目指す。同チームの研究開発の最先端を紹介する。	慶應義塾大学 特任教授 SIP「革新的燃焼技術」ガソリン燃焼 チーム責任者 飯田 訓正	13:50～ 14:30
.... 休 憩				14:30～ 14:40
5	エンジン開発における過渡性能予測モデルの活用	ディーゼルエンジンは、ターボチャージャーやEGRの採用によりシステムの複雑化、電子制御化が進む。性能を発揮するためにはシステムの最適制御が重要であり、性能予測モデルを活用した最適制御手法について紹介する。	三菱重工業(株) 山本 高之	14:40～ 15:15
6	小型汎用エンジンの電子化	小型汎用ガソリンエンジンにおいて、従来の気化器式と搭載互換性を有する汎用性の高い燃料噴射システムの紹介、及び始動専用リチウムイオンバッテリーを用いた MiLAI スタートを紹介する。	三菱重工業(株) 牧 和宏	15:15～ 15:50
.... 休 憩 / 次の討論会準備				15:50～ 16:00
7	全体討論会 (パネルディスカッション)	司会 慶應義塾大学教授 パネラー 北海道大学教授 東京工業大学教授 千葉大学教授	飯田 訓正 小川 英之 小酒 英範 森吉 泰生 講演者 各位	16:00～ 17:15